

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立蒲刈小学校
(蒲刈中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+16.2	+25.1
令和5年度	+9.8	+4.5
令和4年度	-0.6	-8.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 本校 83.9 % 全国 67.7 % 県 69% 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 我が国の言語文化 情報の扱い方	重点課題	◎・漢字を文章の中で正しく使うことに課題がある。 ・資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。 ◇・漢字を文書の中で正しく使うことに課題がある。
	改善の方策	◎・低学年から国語辞典や漢字辞典を引かせ、漢字の成り立ちに興味を持たせたり、へんかつくりの意味や部首の役割を理解させたりする。 ・デジタルとアナログをうまく活用し、繰り返し漢字学習をさせる。 ・相手や目的、場に応じて、資料（表、絵図、写真等）を活用して表現する場面を設ける。 ◇・国語科のみならず、他教科においても適切に漢字を用いるように指導する。 また、日記など日常的に書いた文章を推敲する学習活動を多く設定する。
	検証	◎全国学力（設題12、2月）100% 漢字の使い方に関するテストの問題 2月 90%
算数 本校 89.1 % 全国 63.4 % 県 64% 数と計算 図形 変化と関係 データの活用	重点課題	◎・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、立方体の体積を求める問題に課題がある。 ・計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、表現することに課題である。 ◇・図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことに課題がある。
	改善の方策	◎・観察や構成などの活動を通して、図形の構成や図形の性質について考察させ、実感を伴いながら図形についての理解を深めさせる。 ・問題場面の数量の関係を図や式を用いて表し、計算に関して成り立つ性質を活用させ、計算を工夫できるように指導する。 ◇・デジタル教科書や具体物を用い、図形の構成や図形の性質について考察させ、実感を伴いながら図形についての理解を深める指導をする。 ・日頃の授業の中でなぜその解答になったのか、根拠に基づき算数・数学用語を使って説明させる。
	検証	◎全国学力（設題3（3）2月） 100% 全国学力（設題2（1）2月） 100%

【来年度に向けて】

検証の結果、設問3は100%、設問2は67%であった。図形問題等具体物操作を入れながら学習を仕組み、記述説明させる。